

Bonjour

ボンジュール!!

2016年
3月31日号

Vol.296



ハト派とタカ派。あなたはどちら？

● タカ派とハト派って何？

米国の利上げに関する新聞記事等で見かけるハト派とタカ派という言葉に気になったことはありませんか？

これは金融政策の行方などを論じる時に、決定にかかわる人物や集団のことを、鳥の「鳩」と「鷹」のイメージに例えて表現したものです。

もともとは政治用語で、タカ派は、鷹が力強く積極的なイメージがあることから**経済の分野では経済状況に対して強気な見方であり、利上げ賛成派**になります。一方、ハト派は、**経済状況に対して慎重な見方であり、利上げ反対派**になります。金融緩和を行っている場合には、緩和の継続派でありインフレに対してもある程度寛容的です。

● よく話すのはタカ？ハト？

連邦準備制度理事会(FRB)で金融政策について投票権を持つのは、現在5人のFRB理事と、5地区連銀総裁の計10人です。2016年に投票権を持つ人々の勢力分布は図の通りです。イエレンFRB議長がハト派的な発言をする時には、他の地区連銀総裁がタカ派発言をし、意見にバランスを取っています。特に投票権を持たない総裁ほど強気な発言をすることが多く、いろいろな意見をメディアに発信しています。また連邦公開市場委員会

(FOMC)が近づくと**ブラックアウト期間**といってこのFOMCで投票権を持つメンバーは何も発言しなくなります。

● 市場はどう動く！？

あくまでも基本的な考え方では、**タカ派の意見が多数の場合**、「FOMCで利上げが行われることが有力」との思惑で米ドル高**円安**になりやすく、**ハト派の意見が多数**だと逆の動きで米ドル安**円高**になりやすくなります。特に2016年のFOMCメンバーは2015年に比べてタカ派色が弱まる見通しです。次回のFOMC(4月26日、27日に開催予定)では、4月に利上げがあるのか見送るのか、今後の金融政策や為替の動向を予想するうえで、ハトとタカの言い分を聞いてみるのも良いかもしれません。

■2016年にFOMCで投票権を持つ人々の勢力分布図

ハト派	イエレンFRB議長
	タルーロFRB理事
	ブレイナードFRB理事
中間派	ブラード・セントルイス連銀総裁
	フィッシャーFRB副議長
	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁
	パウエルFRB理事
タカ派	ローゼングレン・ボストン連銀総裁
	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁
	メスター・クリーブランド連銀総裁

※赤文字は常に政策決定の投票権を持ち、残りは輪番制出所:各種報道機関のデータを基にピクテ投信投資顧問が作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。